



野生鳥獣による農林業被害軽減のための農林生態系管理技術の開発

研究課題一覧

1. 野生鳥獣の個体群管理のための技術的検証（チームリーダー：三浦慎悟）
 - (1) 野生鳥獣の適正な個体群密度の検証
 - ① 隔離エゾシカ個体群を用いた適正個体群密度の検証【課題番号：111】
（森林総研・北海道支所・森林生物研）
〔委託（森林総研）：北海道環境科学研究センター〕
 - ② 森林被害の許容水準からみたシカ個体群の適正密度の検討【課題番号：112】
（森林総研・鳥獣生態研）
 - ③ 森林の植生に及ぼすシカの密度依存的な影響と適正密度の検討【課題番号：113】
（森林総研・群落生態研）
 - ④ サル地域個体群維持に関わる遺伝的構造と個体群管理のための遺伝的モニタリング法の研究【課題番号：114】
〔委託（森林総研）：京都大学〕
 - (2) 野生鳥獣の個体数推定技術の開発
 - ① 大規模実験柵実験によるシカ個体数推定技術の確立【課題番号：121】
（森林総研・鳥獣生態研）
 - ② 西南日本におけるシカ個体数推定方法の確立【課題番号：122】
〔委託（森林総研）：九州大学〕
〔委託（森林総研）：福岡県森林林業技術センター〕
2. 農林地の管理形態と野生鳥獣の相互関係の解明（チームリーダー：大井徹）
 - (1) 野生鳥獣の生態及び行動と土地利用形態との関係解明
 - ① GPSテレメトリーによるエゾシカ大規模個体群の空間利用の解明【課題番号：211】
（森林総研・北海道支所・森林生物研）
〔委託（森林総研）：北海道環境科学研究センター〕
 - ② 九州におけるシカ定住個体群の空間利用様式の解明【課題番号：212】
（森林総研・九州支所・森林動物研）
 - ③ 被害発生過程におけるサルの行動と生息地利用の解明【課題番号：213】
（森林総研・関西支所・生物多様性研）
 - ④ サル生息地における実験的環境改変による被害軽減効果の評価【課題番号：214】
〔委託（森林総研）：宮城教育大学〕
 - ⑤ 中山間地域における土地利用の変遷とイノシシ被害との関係解明【課題番号：215】
（森林総研・鳥獣生態研）
3. 農林業被害の発生要因の解明と予察及び軽減手法の開発（チームリーダー：仲谷淳）
 - (1) 農林業被害の発生要因の解明と予察手法の開発
 - ① イノシシによる農作物被害発生予察手法の開発【課題番号：311】
〔委託（森林総研）：東京農工大学〕
 - ② ヒヨドリの渡来数予察システムの開発【課題番号：312】
（中央農研セ・耕地環境部・鳥獣害研）
 - (2) 農林業被害地における各種防除技術の効果の総括的評価
 - ① 農林業被害地におけるサルの行動管理技術の開発【課題番号：321】
〔委託（森林総研）：京都大学〕
 - ② イノシシにおける感覚・運動能力及び異種動物との生物学的関係の解明とその応用【課題番号：322】
（近中国農研・地域基盤部・鳥獣害研）

